

神楽坂幾何学セミナー

日時：2013年12月14日（土）

題目：複素フインスラー計量と振率と調和写像

要旨：複素多様体の正則接束上に複素フインスラー計量を導入するとき、閉リーマン面からこの多様体への滑らかな写像に対して $\bar{\partial}$ -エネルギーが定義され、その臨界点として調和写像がえられる。しかし $\bar{\partial}$ -エネルギーは自然な汎関数であるが、強圧的ではない。

この講演では、複素フインスラー計量から定義されるチャーン・フインスラー接続の振率が、調和写像の定義方程式や、強圧的な汎関数である L^2 -エネルギーと、どのように関係してくるかについて解説する予定である。